

Via Latina 22



総本部よりのお知らせ - マリア会 マリア会での修道誓願

2016年1月
247号



Bro. Felipe Melcher and new professed, Bro. José Martín.

昨年12月13日、José Martín Medina Bazalar士はマリア会ペルー地区で初誓願を宣立しました。カヤオにある贖い主の母マリア小教区にてすばらしい誓願式が執り行われました。José Martín士は、ペルーで最初の志願期を過ごした後、チリーのClamarの修練院で1年10か月を過ごしました。

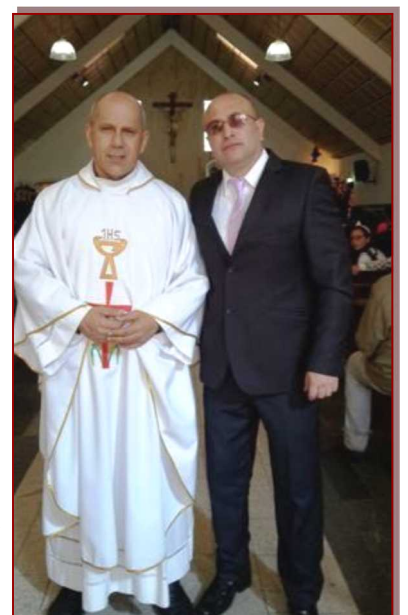
この誓願式にペルー地区の全てのマリア会員、José Martín士の家族と友人たち、そして信徒マリアニ

ストのメンバー、最近誓願を宣立したアリアンス・マリアルメンバーたちが出席していました。ミサ聖祭はEduardo Rodriguez師が司式し、その他Jorge Roos, Rafael Luyo, Javier Nugent, Ralph DoorackそしてVictor Mullerの諸司祭が共同司式しました。典礼はJose Martin士自身によって準備されました。ペルー地区長のFelipe Melcher士がマリア会員を代表して参列者に歓迎の言葉を述べました。この式の最後に、初誓願者José Martín士はマリアの母としての愛によって御子の似姿に形作られるよう、母マリアのみ手に自らを委ねました。

昨年12月12日、ラテンアメリカの保護者であるガダルーペの聖母の祝日に、Mauricio Alberto Salinas Bautista士がマリア会の初誓願を宣立しました。会員、FMI シスター、一般信徒、Mauricioの家族、および多くの友人たちがこの初誓願の大きな喜びを祝うためにコロンビアのボゴタにある慈悲の聖母マリア小教区の聖堂に集いました。この小教区は約40年前からマリアニストにその司牧を委ねられた小教区です。ミサではボゴタのシャミナード聖歌隊によって聖歌が歌われました。初誓願をととても喜んだMauricio士は、コロンビア・エクアドル地区で彼に与えられるいかなる任務にも赴く決意を表明しました。

この召命を神に感謝しましょう、そして、この地区を強化し、世界のあらゆる場所でより多くのマリア会の召命を呼び起こしてくださるよう、おとめマリアに祈りましょう。

Fr. Rodrigo Betancur, Superior Regional of Colombia-Ecuador, and new professed, Bro. Mauricio Alberto Salinas Bautista.



アフリカで10名の終生誓願者

“第5回 マリアニスト・カリスマ会議”のハイライトは、コートジボワール、アビジャンにある聖マリア巡礼聖堂での10名の終生誓願者のお祝いでした。(VL22今号の以下の記事参照)彼らはアフリカの4つの行政単位から来た会員たちです。



- ❖ 東アフリカ: Julius Maingi, Denis Litiolo, Given Mukansih 士 3名
- ❖ フランスコンゴ: Denis K. Masida, Anaclet M. Pengele, Kevin N. Longui 士 3名
- ❖ トーゴ: Anselme Agbessi, Matthieu Hilim-Peleke 士 2名
- ❖ コートジボワール: Claude Bla, Elie O. Kouakou 士 2名

この誓願式の主催者はアフリカゾーンの異なる行政単位間に存在する共同体の一致を表現したいと望みました。彼らはまた、式典を司式したコートジボワールの教皇庁大使であるJoseph Spiteri大司教の出席を通して、全教会との一致も経験しました。上記の全ての兄弟におめでとう！

チリの新地区長



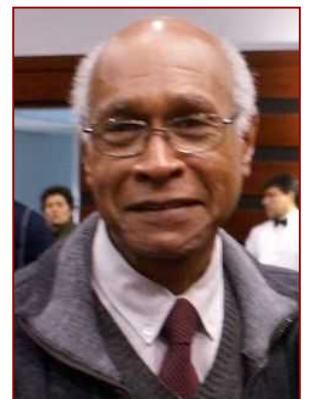
総長Manuel Cortés師は、チリのマリア会員の意見聴取を経て、その評議員会の同意のもとに、José Pascual Perez士をマリア会チリ地区長に任命しました。彼の任期は2015年12月12日から4年間となります。

私たちはこの任務を引き受けてくれたJosé士に感謝します。彼のために祈り、私たちの寛大な協力を約束しましょう。私たちはまた、これまでチリ地区長として貴重な奉仕をしてくださったJosé María Arnaiz師にも感謝します。

ペルーの新地区長

総長Manuel Cortés師は、ペルー地区のマリア会員の意見聴取を経、その評議員会の同意を得て、Douglas Roper士を新地区長として任命しました。彼の最初の4年間の任期は2016年1月1日から始まります。

新地区長が地区の修道者とその使徒活動へのリーダーシップの奉仕を開始するにあたり、私たちは彼のための祈り、支持を表明します。これまでの貴重な奉仕に対しPhilip Melcher士に感謝します。



総本部財務局からのメッセージ



過ぎた昨年一年間を通して、私たちは福音的な愛と兄弟的な連帯のうちに生き、私たちの使命の中でこれらの心構えの証人として働く召命を再確認してきました。

教皇フランシスコの教書、“Laudato si”，すなわち、欧州や世界中の他の地域に見られる緊急な難民危機の問題を取り扱う中で彼の支援への呼びかけ、そして“教会に於けるブラザー（修道士）のアイデンティティと使命”についての最近の教書は、全て、「人類家族のメンバーである私たちは、世話をされ、養育され、尊重されることを必要とする兄弟的な愛を、神の計画によって、私たちの父である神と兄弟であるイエスと分かち合う」という事実、その出発点を見出しています。誓願を宣した修道者として、私たちは日々の生活と仕事の中でこの兄弟的な愛を証する特別な使命を持っているのです。他の人たちと共に、私たちは「兄弟的な関心が人類全体に広げられること」を保証するよう助けなければなりません。これは容易な仕事ではありません。だからこそ、私たちは皆貢

献する必要があるのです。そうです、私たちは私たちの兄弟姉妹の後見人なのです。

では私たちは具体的に何が出来ますか？ 申し訳ないですが、私はその答えを出しかねます。あなたはあなた自身でそれを見つけねばなりません！ 先ず何よりも、この問いは最も深いところから来る個人的な応答を求める問いかけです。しかし、私たちは全員、何かをしなければなりません！ 今回、私は総本部財務局から新たな発案を紹介するつもりですが、私たちは、継続したマリアニスト連帯・養成基金（これはマリア会全体を通して行政単位の寛容さに寄るものですが）の管理・運営に加えて、この発案を今年、2016年に始めるつもりです。これは、どれほど限定されていても、この連帯への呼びかけに対する総本部の応答の仕方なのです。

Via Latina22の1月、4月、10月号のこの欄で、私たちは考察、討議、また、必要に応じて、回答のための特別な話題を提供します。同様な通知が直接、行政単位の財務と教育補佐に送付されますが、その通知を行政単位全体の共同体と事業体に配布して下さるよう希望します。更に、www.marianist.org に新たなサイトが設営されており、継続的に皆様にニュースと情報を提供し続けます。修道共同体には、各々の話題が提供されると、その後続く集会に於いて考察と討議のためにこれらの情報をぜひ活用して下さいよう、お願いいたします。

この課題は大きく、何かを変えるには私たちはあまりに無力だと感じるかもしれません。でも、各自が出来る事も色々あると思います。私たちが総本部で“Lectio divina”を実践している間に、福音に含まれる挑戦について黙想し祈っている時、私は“私の頭、私の心、私の手”を持って聖書の挑戦について考えるのが好きです。もっと具体的に言いますと：何が現実ですか？ その現実はどのように私に触れていますか？ 私の応答はどうあるべきか？ この進行中のJPICの努力において示される一つひとつの話題に誰でもアプローチできる方法として、私はこれを提案します。先ず、問題を知ってください（頭）。今日の世界が抱えている大きな課題の表れ、原因、そして可能な解決方法等についてもっとよく理解するようにしてください。これらは大変複雑です。しかしながら私たちはそれをおそれてそのままにしておくことは出来ません。理解があるときだけ、実りある対話が起これます。次に、私たちは祈ることが出来ます（心）！ 私はこれを単純化しすぎる、あるいは素朴すぎる解決策としてではなく、むしろ、あらゆる和解と癒しを望まれる神は仲介することを欲しておられる、と確信する解決策として提起します。私たちは皆、祈りによって希望の証人となることができます。たとえこれらの切迫した課題の明白な結果が私たち自身の経験からかけ離れているとしても、私たちはこれらの課題に取り組むができるし、また取り組まなければなりません。私たちは、福音的共感と祈りをとおして、“身近に”引き寄せることができます。最後に、私たちは変革のために働く方法を見いだすよう努めます（手）。おそらく、これは私たち自身の姿勢と実行をもって始まる事を意味します。多分、他にも私たちが直接に助けることができる方法があるでしょう。私たちの理解と祈りは、何が私たちの人間としての応答であるべきか、を識別する助けとなり得るでしょう。

最後に、私は私たちの重要な二つのグループ、年配の修道者と学生の皆さんに特別な呼びかけをしたいと思います。年配の修道者の皆さん、皆さんは活動的な役務からは“引退”しておられるかもしれませんが、祈りと証しを通して私たちの宣教活動に依然として深い影響力を持っておられます。私は皆さんがこのような働きに熱心に参加し

てほしいと思います。世界各地に大勢いる私たちの学生諸君、私は、皆さんがこの世界が必要とするものを理解したいとの望みを持って把握し、すべての人にとって望ましい尊厳ある未来の創造に向かって参加し、働くようになることを願っています。今、スタートする最高のタイミングだと思います。

総本部財務局としては、あなた方と対話ができればいいと思います。そして特に、皆さんからのフィードバックや追加情報を待っています。このやり方についての詳細はwebsiteを見てください。これからの対話に対する皆さんの貢献に感謝します。

“あなたが身近な兄弟姉妹に行った全ての事は私に行ったことなのです。”

Michael J. McAward, SM 総本部財務局長

移民と難民が私たちに訴えています

この“いつくしみの特別聖年”に、教皇フランシスコは世界移民と難民の日のメッセージを2016年1月17日に出されました。この教書は、私たちの [website \(www.marianist.org\)](http://www.marianist.org) で自由に検索出来る他の資料と共に、今後3カ月間に渡り、この問題についての勉強、考察、討議、行動などの背景として提供される主題となるでしょう。私たちは皆さんのフィードバックや提案を歓迎します。



世界マリアニスト家族JPIC活動の新しい対話型地図

世界各地でマリアニスト家族の正義と平和活動を紹介している新しい対話型地図が [website: \(www.marianist.org\)](http://www.marianist.org) にて利用出来るようになりました。

マリアニスト家族の世界評議会のプロジェクトであるこの地図は、貧者と助けを求める人たちのため何をなすべきかが分かるようになっています。一度登録すると、この地図は皆さんにこれら活動の各々を明らかにするリンクを提供します。



コートジボワールでの第5回カリスマ会議



30名ほどの参加者がこの会議に集まりました。初めての事ですが、参加者の中にはアメリカからのブラザーたちもいました。9名の講演者のほかに、コートジボワール従属地区の修道者たちがこの国際会議を組織し運営するために貴重な手伝いをしました。

全てが祈りと共同体生活の良い雰囲気の中で執り行われ、その雰囲気の中で各行政単位はそれぞれ自分たちのマリアニスト生活の生きかたを紹介することができました。こうしながら、私たちは他の行政単位のマリアニスト生活のインカルチュレーションの持つ豊かさを発見したり評価したりする機会を持つことが出来ました。夕方のレクリエーション時には、それぞれの参加者の伝統的生き方から現代に至る文化的な進展を示す機会が持てました。

初めてアフリカに来たThompson神父は、説教と私たちへの講話の中でスローガンとして“アーメン”という言葉を使い、世界を覚醒させるために私たちを目覚めさせ、私たちを招きました。講話は大変教育的なものでした。講演者による個人的体験の分かち合いは全参加にとって勇気付けられるものであり、マリアニストカリスマがどれほど今でも現代的で非常に生きるに値するものであるかを示していました。私たちはまた、マリアニストカリスマの研究が私たちに求めるのは犠牲ではなく、むしろ発揚されるべき情熱と喜びであることに気づきました。

第5回カリスマセッションを過去のものと比較すると、言葉の障害が少なくなっていると感じました。ブラザーたちは少なくとも仏語か英語を話せました。巡礼所のおとめマリア像の下で、私たちはお互いに別れの挨拶をしました。それは感動的なひと時でした。私たちは全員、将来の再会を期待しています。



Fr. David Fleming during the Eucharist.

この機会を利用して、私たちはこれを計画した皆さんと、この会議が成功するように私たちを霊的、精神的、財政的に支援してくださった恩人の方々に感謝を表明したいと思います。繰り返しますが、これらのセッションが若い修道者を育成するために有する重要性をこの会議は示しました。

(トーゴのIgnace Gueba士, SM, Jacob Palou士, SM, Togo)

マリアニストによる新刊書

* アイボリーコーストのEugène Adingra師は福音書によるマリアの信仰生活について 87ページにわたる小冊子を出版しました。Dayton大学の国際マリア研究所での博士号研究の成果であるこの小冊子は、4名の福音史家の視点を通してみられるマリアの信仰とその進展についての体系的で示唆に富む考察を提示しています。小冊子の終わりには、個人あるいはグループの考察の助けとなる種々質問があります。これは、豊かで十全なマリアニストの霊性を読者にとって近づきやすいものとする、小冊子ではあるが中身の濃い本です。

* アルゼンチンのLuis Casala師は、ブエノスアイレスのEditorial Claretianaを通して、“奉獻生活の収集録”に、奉獻生活の年に合わせたそれぞれ約100ページある小冊子6篇のシリーズをちょうど出版したところです。このシリーズは現代世界における奉獻生活についての意味深く、示唆に富んだ、同時に現実的な読み物となっています。Luis師は養成者、長上、黙想指導者、多くの修道会の多数の男女修道者の霊的指導者としての長年にわたる働きに基づいて、このシリーズを著しています。この小冊子の話題として次のような項目が含まれています：奉獻と誓願、現代の奉獻生活の変容、独身と(男女の)性を生きること、霊的同伴と識別、“創造的忠実さ”から生じる共同体の生活、堅忍、そして養成。これは個人的、あるいは共同体としての読書にとって大変豊かなシリーズとなあっています。

Luis師はまた、教会に於ける“司牧的回心”についての本も出版しました：“Tendremos la audacia” (Buenos Aires: Sendero Ediciones, 2015)です。彼は、「今日、私たちが自分の信仰を生きている状況」の分析から始めて、「教会の指針に照らして私たちの教会の状況診断」へと進み、そして「イエスに戻り、福音に戻る」ために回心の必要性を強調しています。彼は「私たちが“司牧的回心”というチャレンジに直面するのを助けることができる指針と基準」を提示しています。そして最後に、彼は“司牧的回心”の神秘主義と霊性を展開しています。小グループの対話のために多くの助けを含んでいるこの本は、司祭や修道者向けであるが、また、教会を立て直すために呼ばれていると感じる全ての男女クリスチャン向けでもあります。更にまた、この本には教皇フランシスコの精神にそったアルゼンチン司教団からのいくつかの宣言と指針が書かれています。

(David Fleming師、ヨーロッパマリアニスト養成センターの調整役)

総本部 最近の通信

- * 計報: No 29-36
- * **2015、12月9日: VocSM No 13**, 総本部霊生局長、André Fétis師から全ての行政単位の長に全て3か国語にて送付された。
- * **2015、12月10日: 2015年年間統計**への依頼状がローマの総書記から全ての行政単位の長と関係書記に全て3か国語にて送付された。
- * **2015、12月10日: 2016年版のSM教育ダイレクトリ**のため、情報の依頼を総本部教育局長、Maximin Magnan士から全ての教育補佐に送付された(南米向けを除く)



2015年 物故者 一覽

#	Name	Date	Place	Age	Prof.	Unit
1	Rafael Robredo Sáinz	Jan.	12	San Sebastián	89	71 ES
2	Howard Robert Lohrey	Jan.	24	Dayton	65	46 US
3	Isidoro Armentia Ramírez	Jan.	24	Vitoria	82	64 ES
4	*Adalbert Muller	Feb.	2	Vandoeuvre-lès- Nancy	77	58 FR
5	Ugo Titta	Feb.	5	Rome	80	62 IT
6	Michael John Cochran	Feb.	7	Nairobi	69	50 EA
7	Félix Foucher	Feb.	19	Marignane	95	77 FR
8	James McCaffrey	Mar.	4	San Antonio	92	73 US
9	Martin Issenlor	Mar.	10	Sélestat	91	67 FR
10	Joseph Andrew Grieshaber	Mar.	24	San Antonio	76	58 US
11	*George John Abmayr	Mar.	31	Dayton	87	68 US
12	Kenneth Cletus Jung	Apr.	14	San Antonio	92	72 US
13	*Raymond Roussin	Apr.	24	Winnipeg	75	57 CA
14	*Clément Ott	Jun.	15	Créteil	90	73 FR
15	Giuseppe Ginevri	Jul.	28	Rome	79	62 IT
16	*Urs Erwin Schenker	Aug.	1	Sion	83	65 SU
17	Richard Delaney Middleton	Aug.	18	San Antonio	87	70 US
18	Lorenzo Carrara	Sep.	1	Pallanza	87	66 IT
19	Charles Cummiskey	Sep.	9	San Antonio	91	74 US
20	*Bernard Truffer	Sep.	22	Sion	94	75 SU
21	Charles Lohrenz	Sep.	28	San Antonio	84	65 US
22	*Joseph Hilgers	Oct.	1	La Hulpe (Belgique)	93	77 FR
23	*James McKay	Oct.	15	Dayton	98	81 US
24	James Frederick Wisecaver	Oct.	17	San Antonio	73	54 US
25	*Alois Leitner	Oct.	19	Freistadt	77	61 OE
26	*José Luis Otaño Echániz	Oct.	19	Vitoria	84	68 ES
27	Otilio Ortega Arnaiz	Nov.	12	Buenos Aires	82	66 AR
28	Leo Delbert Willett	Nov.	14	San Antonio	90	71 US
29	Robert Joseph Johns	Dec.	2	Dayton	84	66 US
30	William Daniel O'Leary	Dec.	12	San Antonio	86	67 US
31	Leonard Rudy	Dec.	13	San Antonio	81	63 US
32	Irénée Breton	Dec.	13	Lévis	82	65 CA
33	*Antonio Soldà	Dec.	18	Rome	80	63 IT
34	Venancio Aizpuru Ortiz de Zárate	Dec.	22	Madrid	93	74 ES
35	*John McGrath	Dec.	26	Dayton	80	61 US
36	*Joseph Marshall	Dec.	28	San Antonio	61	30 US

2016年 誓願・叙階記念者

January 22

(60° profession)
*Lee, Bernard (US)

(25° ordination)
*Goossens, Francis (FR)

February 11

(60° profession)
Suárez, Manuel (ES)
Suárez, Guillermo (ES)

(50° profession)
Lahey, Robert Joseph (ME)

March 17

(60° ordination)
*Lambert, Paul (CA)

(25° ordination)
*Kaïmba, Roger (FR)

March 18

(60° ordination)
*Jossen, Otto (SU)

March 26

(60° profession)
Hatabara, Kazuyoshi
Antoine (JA)
Nakashima, S. Paul (JA)

(50° ordination)
*Baffrey, Albert (FR)
*Barbudo, Enrique (AR)
*Bielza, Juan (ES)
*Conlon, Christopher (US)
*Cruz, Manuel (ES)
*Eichner, Philip Karl (ME)
*Lora, Francisco de (ES)
*Schwager, Hugo (SU)
*Tarrillion, Joseph
Anthony (US)
*Zubía, Antonio María (ES)

May 1

(25° profession)
Lakra, Anuranjan (IN)

June 9

(25° ordination)
*Hue, Philippe (FR)

June 15

(25° profession)
Rufo, Nicholas Joseph (US)

June 29

(25° ordination)
*Rossier, François (SU)

July 22

(60° ordination)
*Arsenault, Gabriel (CA)
*Backherms, Robert (US)
*Leies, John Alex (US)
*Pedrosa, Agustín (ES)

August 15

(70° profession)
*Breton, Jacques (CA)
Meyerpeter, Eugene (US)

(60° profession)
Marin, Luciano (IT)
Pugliesi, Santino (IT)
*Santacroce, Salvatore (IT)

(50° profession)
*Casella, Pierangelo (IT)

(25° profession)
Kiama, Peter (US)
*Mwaura, Kahiro J. (EA)

August 17

(25° profession)
*Weik, Terence P. (US)

August 18

(70° profession)
*Backherms, Robert (US)
*Kuhn, Richard V. (US)
*Reich, Paul Ambrose (US)

August 22

(50° profession)
Halloway, William G. (US)
Kamis, Joseph Henry (US)
Marcinowski, Gary M. (US)
Oldenski, Thomas E. (US)
Stratman, Bernard (US)
Suda, Thomas (US)
Sullivan, Jeffrey Paul (US)
*Triulzi, Daniel (US)

September 2

(60° profession)
Peyr, Gottfried (OE)

September 8

(60° profession)
Cada, Lawrence John (US)
Damm, Frank Louis (US)
Fitzgibbons, James P. (US)
*Fleming, David A. (US)
Jablinski, Adolph Paul (US)
*Lorfanfant, Ernest P. (ME)
*Ramirez, José (US)
Schaaf, Donald C. (US)
Thompson, Kenneth H. (US)
Wayer, Vincent A. (US)

September 12

(75° profession)
Aguiriano, Andrés (ES)
Hidalgo, Evelio (ES)
Lecue, Juan (ES)
Ortega, David (ES)

(60° profession)
Álvarez, Manuel (ES)
Gutiérrez, Lauro (ES)
Lejarza, Teófilo (ES)

Martínez, Francisco (ES)
Pascual, José (CH)
Pujana, Agustín (ES)
Reynès, Claude (FR)
Rojo, Amador (CH)
*Subero, Francisco J. (ES)

(50° profession)
*Aguilera, Enrique (ES)
Eguíluz, Rafael (ES)
*Erdocia, Félix (ES)
Gil, Julio (ES)

*Vicente, Antonio de (ES)

September 14

(25° profession)
Berrios, Reinaldo (US)

September 18

(70° profession)
González, Eliseo (AR)
Ibabe, Segundo (ES)
*Lora, Cecilio de (CE)
Pedrosa, Máximo (ES)

September 22

(25° profession)
Limdeyou, S. Stanislas (TO)
*Pagnan, P. Ignace (TO)
Pélési, Kéguè Alexis (TO)

October 12

(60° profession)
Rey, Sabas (CH)

November 21

(75° profession)
*Vial, Bernard (FR)

